

# 2022 年度当初予算編成に対する申し入れ

神戸市長 久元 喜造様

2021 年 12 月 22 日  
つなぐ神戸市会議員団

(はじめに)

つなぐ神戸市会議員団は、市民と市政を、市民と議会をつなぐことを結成当初からめざして活動しています。これまで様々な市民団体や個人から神戸市に対する要請を受けてまいりました。

要請の中で浮かび上がった市政の問題点をまとめ、会派としての見解を踏まえて 2022 年度神戸市予算に対する要請とさせていただきます。

(福祉環境委員会)

- ・障がい者支援

国の重度障害等就労支援特別事業を神戸市においても実施すること。

65 歳到達時において、障害福祉サービスを選択するのか介護保険を利用するかのについては、本人の希望を尊重する対応をすること。

Navilens など障がい者の移動保障のシステムづくりを支援すること。

重度心身障害児や医療的ケアの必要な児童が利用できる福祉施設を拡充すること。

- ・依存症対策

アルコール・薬物・ギャンブル・摂食障害・ゲーム障害などの依存症対策を拡充すること。

当事者・家族とともに社会的啓発を促進すること。

- ・アスベスト対策

市営住宅におけるアスベスト除去の調査・分析結果が、依頼する専門機関によって大きく異なり、解体事業経費が 3 倍近くに膨れ上がるという問題が起きている。環境局として専門家による科学的な検証を行い、信頼できる調査方法を確立すること。

(教育こども委員会)

- ・多様な教育を受ける権利

フリースクールとその利用者に対する公的支援を行うこと

神戸市施設の利用にあたり、フリースクールを学校と同様に扱うこと

- ・学校給食

中学校給食の全員喫食に向けて、民間デリバリー方式に頼らず、センター方式や親子方式を可能な限り追求すること。

学校給食の食材については、有機農業産品を可能な限り追求し、残留農薬検査を拡充すること。

- ・療育支援

医療的ケアの必要な児童の通園・通学に保護者の付き添いを求めない環境を整備すること。

- 学童保育

地域方式学童保育所においては、助成金の大幅な増額や保育場所の確保、指導員の身分保障において公的責任を果たすこと

児童館学童クラブにおいては、大規模クラブの解消、指導員の勤務条件の改善を行うこと

(都市交通委員会)

- バリアフリー

市営地下鉄やバスなど交通局所管施設の設備更新や新設の際は、障がい者など利用者が意見を述べる機会を設けること。

(総務財政委員会)

- ジェンダー・LGBT 対策の推進

現在の男女共同参画センターは、様々な相談に追われていて予算も縮小している。企画調整局内にジェンダー施策やLGBTなど性的少数者の支援策を企画立案する部局を設置し、予算を拡充すること。

大半の政令市が導入しているパートナーシップ制度を早急に導入すること。

- 王子公園再整備

市民への周知も不十分な上、市民の声に耳を傾けることなく進められている王子公園再整備計画案については、一度白紙に戻すこと。

(経済港湾委員会)

- ユニバーサルツーリズム

誰もが観光を楽しめるよう支援を行う「神戸ユニバーサルツーリズムセンター」は、国も含めて全国的に高く評価されている。神戸観光の重要な機能と位置付けて支援を拡充すること。

(建設防災委員会)

- バリアフリー

道路や公園など建設局所管施設の設備更新や新設の際は、障がい者など利用者が意見を述べる機会を設けること。